

645 徴兵検査成績

〔『法学新報』第31巻6(354)号 大正10年6月1日〕

○徴兵検査成績 去月陸軍省の発表したる所に依れば大正九年に於ける徴兵適齢者は五十二万八千三百七十八名前年仮決者十萬九千四百七十名合計六十三万七千八百四十八名にして前年に比し適齢者二萬三千六百十六名増加し仮決者八百二十六名減少せり而して右壯丁中人事上の事故に因り徴集し得ざりし人員は

- 一、家族の自活し能はざる為めの徴収猶予者三百六十名（前年に比し十二名減）
- 二、旧法に依る学校生徒徴集猶予者三万九千六十名（前年に比し一万七百九十二名減）
- 三、在外徴集延期者二万三千二百二十名（前年に比し九百八十四名増）
- 四、逃亡所在不明一万五千四百九十六名
- 五、処刑せられたるもの百九十名（前年に比し十九名増）
- 六、犯罪又は裁判未決のもの三千五百七十三名（前年に比し六十六名減）
- 七、疾病其他の事故五千三百八十七名（前年に比し百八十七名増）
- 八、故なく徴兵検査に出頭せざるもの三千一百七十七名（前年に比し四十二名増）

にして学生の徴兵猶予者激減したるは徴兵令改正の結果なり而して処刑せられたる為め兵役に服するを許されざる者及び忌避者の増加年甚しきは注目に値す徴兵忌避者及び其疑ある者は千四百四十五名にして其中処刑せられたる者三百十六名、処刑せられざるも其疑ひあるもの千百二十九名あり忌避者は都市及び其附近居住者最も多く而して教育ある上流者と無学なる最下層者之を占む此対照は体格に於ても同様にして上流と最下流とは共に不健全者多し